

2018年度(2019年3月期)の概況

シャープ株式会社及び連結子会社 3月31日に終了した各連結会計年度

2018年度の業績

日本では、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどにより穏やかに回復しましたが、輸出や生産の一部に弱さがみられました。海外では、米国で回復が続く一方、ユーロ圏の一部で減速傾向を示したほか、中国では穏やかに減速しました。また、年度末にかけ、米中貿易摩擦や大手顧客の需要変動の影響が強まり、想定に比べ厳しい市場環境となりました。

こうした中、シャープは、事業ビジョン「8K+5GとAIoTで世界を変える」の実現に努めました。また、事業環境を勘案し、今後のさらなる成長のため「量から質へ」の転換に取り組み、収益力の強化と財務体質の改善を進めました。

シャープの2018年度の売上高は、アドバンスディスプレイシステムが減少し2兆4,000億円(前年度比1.1%減)となりました。営業利益は、アドバンスディスプレイシステムが減少し、841億円(前年度比6.6%減)となりました。経常利益は690億円(前年度比22.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は742億円(前年度比5.7%増)となりました。

厳しい市場環境となったものの、環境に先んじて「量から質へ」の転換を進めたことなどから、前年度を上回る最終利益と最終利益率を確保することができました。四半期ベースでは、2016年度の第3四半期以降、10四半期連続で最終黒字を継続しています。

このほか、希薄化リスクや優先配当などを有するA種種類株式20万株のうち、9万2千株を取得・消却するなど、資本の質の向上に取り組みました*。

なお、普通株式の年間配当につきましては、財務状況や今後の事業展開などを総合的に勘案し、前年度より1株当たり10円の増配となる20円の配当を実施しました。

※2019年3月31日現在の発行済のA種種類株式は10万8千株でしたが、同年6月21日、当社はその全数を取得・消却しました。

■ 米中貿易摩擦や大手顧客の需要変動など、年度末にかけて、想定以上に厳しい市場環境となる

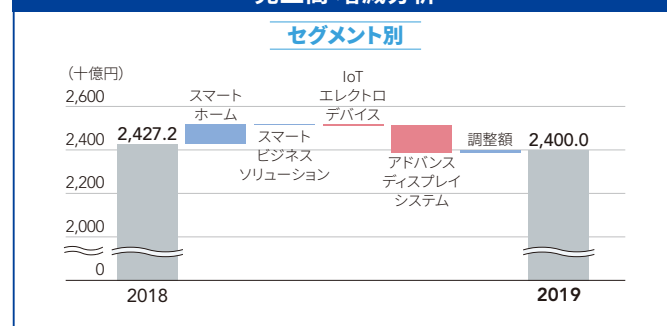
■ 環境変化に先んじて「量から質へ」の転換を進めたこともあり、前年度を上回る最終利益と最終利益率を確保

■ 2016年度 第3四半期以降、10四半期連続で最終黒字を継続

■ A種種類株式の一部取得・消却など資本の質的向上への取り組みを実施

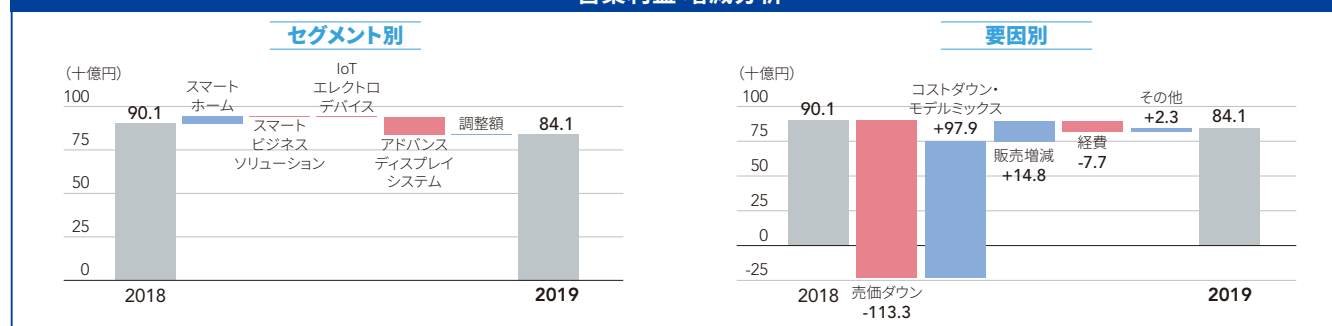
■ 普通株式に2017年度を上回る配当を実施

売上高 増減分析



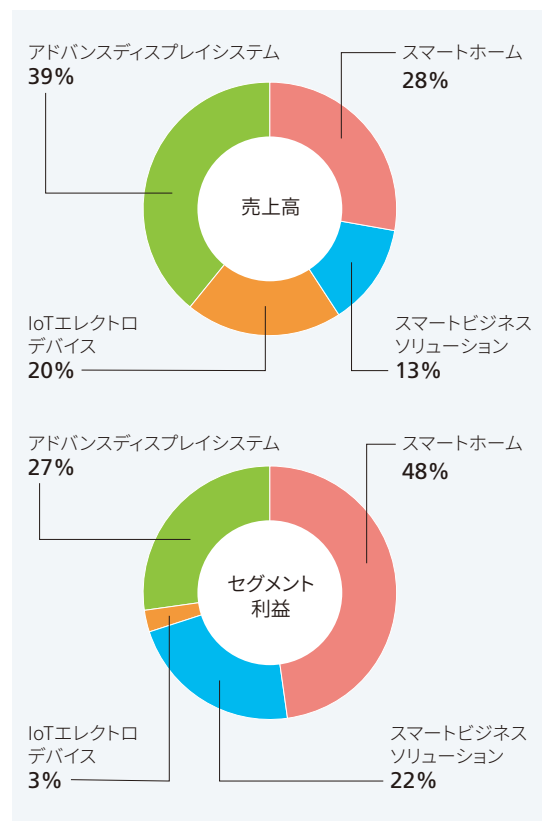
AIoTはシャープ株式会社の登録商標です。

営業利益 増減分析



2018年度(2019年3月期)の概況

セグメント別売上高・営業利益

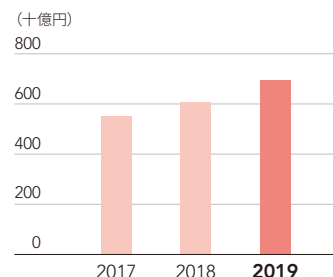


- 売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおり、円グラフの売上高構成比は、これを基に算出したものです。
- セグメント利益はセグメント間取引の調整前の金額です。円グラフのセグメント利益構成比は、これを基に算出したものです。
- 2018年3月31日に終了した連結会計年度より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、2017年3月31日に終了した連結会計年度についても、変更後のセグメント区分に基づき表示しています。
- 2019年3月31日に終了した連結会計年度より、組織変更に伴い、従来「スマートビジネスソリューション」セグメントに含めておりました先進設備開発事業を「IoTエレクトロデバイス」セグメントに含めて表示しております。これに伴い、2018年3月31日に終了した連結会計年度についても、変更後のセグメント区分に基づき表示しています。

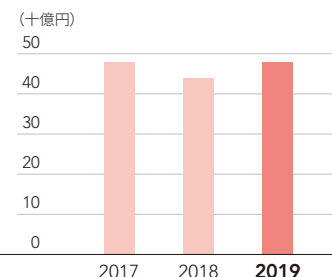
スマートホーム (Smart Homes)

携帯電話機、電子辞書、電卓、電話機、ネットワーク制御ユニット、冷蔵庫、過熱水蒸気オープン、電子レンジ、小型調理機器、エアコン、洗濯機、掃除機、空気清浄機、扇風機、除湿機、加湿機、電気暖房機器、プラズマクラスターイオン発生機、理美容機器、太陽電池、蓄電池、パソコン等

■売上高



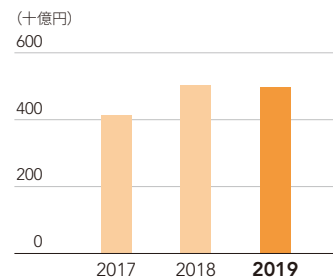
■セグメント利益



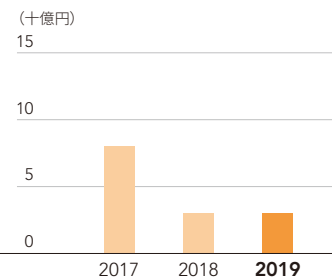
IoTエレクトロデバイス (IoT Electronics Devices)

カメラモジュール、カメラモジュール製造設備、センサモジュール、近接センサ、埃センサ、ウエハファウンドリ、CMOS・CCDセンサ、半導体レーザー、車載カメラ、FA機器、洗浄機等

■売上高



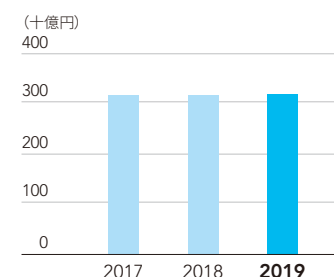
■セグメント利益



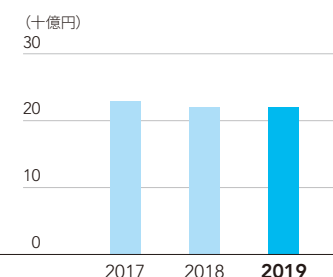
スマートビジネスソリューション (Smart Business Solutions)

デジタル複合機、インフォメーションディスプレイ、POSシステム機器、電子レジスタ、業務プロジェクター、各種オプション・消耗品、各種ソフトウェア等

■売上高



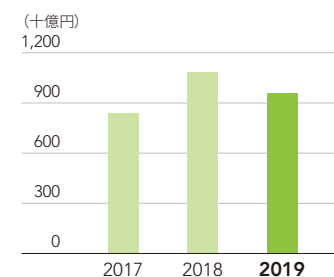
■セグメント利益



アドバンスディスプレイシステム (Advance Display Systems)

液晶カラーテレビ、ブルーレイディスクレコーダー、オーディオ、ディスプレイモジュール等

■売上高



■セグメント利益

